

脱炭素 経営研究会

2050年以降も**持続的な成長**をし続ける会社を創る
経営者のための実践勉強会



Funai Soken FUNAI CONSULTING INCORPORATED

株式会社船井総合研究所

Ver2024年

脱炭素経営研究会

～脱炭素経営推進のための定期的な勉強会～

上記の画像は弊社が運営している他の研究会の画像となります

このような企業様に最適です

- ・ 脱炭素経営/ESG・SDGs経営にこれから本格的に取り組みたいとお考えの経営者および推進責任者
- ・ 脱炭素経営に取り組みたいものの、取り組み方がわからない経営者および推進責任者
- ・ 脱炭素経営実現のためのロードマップ策定の方法を知りたい経営者および推進責任者
- ・ 脱炭素経営をビジネスチャンスに変え、業績を拡大させたい経営者および推進責任者
- ・ サプライヤーからの圧力で脱炭素に取り組まないといけない状況の経営者および推進責任者

本研究会で得られること

1. **“儲かる脱炭素経営”**で脱炭素推進が可能になる
2. **マーケティング発想**で脱炭素経営に取り組み、ビジネスチャンスが広がる
3. **コスト削減**として会社に残すことがより可能になる
4. **ゼロから脱炭素経営に取り組む際の具体的なステップ**がわかる
5. **GHG排出量(Scope1,2,3)の算定の方法**がわかる
6. 脱炭素経営実現のための**ロードマップ策定の方法**が得られる
7. 同業他社の**脱炭素経営の推進事例**がわかる
8. **すぐにCO2排出量を削減**できる手法が学べる
9. **脱炭素経営をすでに実現している企業の事例**がわかる
10. 脱炭素経営をすでに実現している**企業と交流**できる



上記の画像は弊社が運営している他の研究会の画像となります

－脱炭素経営研究会コンサルタント発刊書籍－

中堅・中小企業はGXで生き残る！利益を最大化する脱炭素経営

脱炭素経営に取り組む意義、具体的な取り組み方まで、
手元に置くマニュアル本としてご使用できます！

発売日：2022年12月24日(土)

第1部 中小企業のための脱炭素経営入門

第1章 脱炭素経営とは何か

第2章 脱炭素経営で中小企業はどう変わるか？

第2部 脱炭素経営のロードマップ

第3章 温室効果ガス排出量の可視化

第4章 ポテンシャル把握

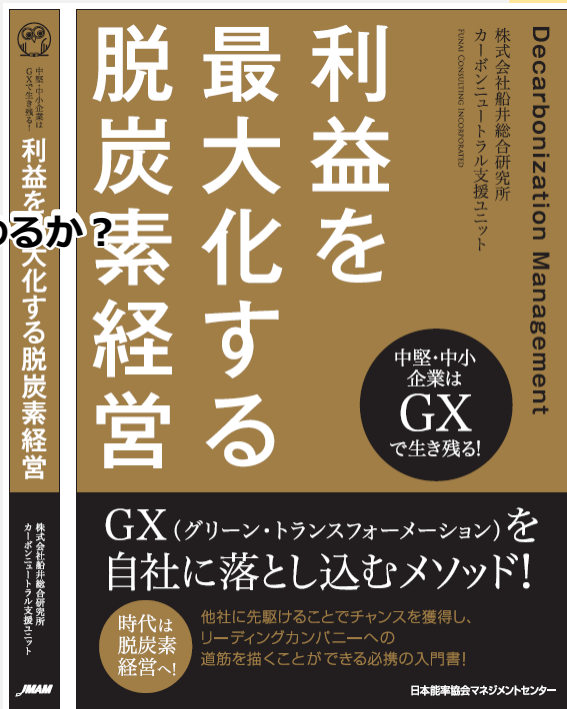
第5章 脱炭素ロードマップの策定

第6章 脱炭素施策の実行

第7章 ステークホルダーへの情報開示

第3部 注目の技術

第4部 脱炭素経営に取り組む企業事例



Amazonで高評価いただいています！

株式会社船井総合研究所 カーボンニュートラル支援ユニット (著)

4.2 ★★★★★ ☆ 10個の評価



★★★★★ 脱炭素をモチーフにした、組織経営・コーポレートガバナンスの優れたガイドライン

2023年1月10日に日本でレビュー済み

Amazonで購入

トレンドワードの域を超えた「脱炭素」の要点を、効率良く押さえるためには最高の一冊。
一読し、脱炭素をモチーフにした組織経営・コーポレートガバナンスのガイドラインでもあったと感じた。
(もちろん、脱炭素経営に関する情報が中途半端というわけでは決してない)

33Pの「脱炭素とは、約束された市場である」という言い切りが目を引き、35Pの「脱炭素市場の形成は
(中略) 既存の市場から代替されて形成されます」へのくだりで続くページへの興味が増した。

冒頭で「要点を」と書いたが、ポイントのみにフォーカスしたマニュアル書ではなく、執筆陣によるSWOT
分析や関係当局の各レポート、GFANZ等のグローバルレベルでの金融市場支援に関する潮流も網羅されてお
り、読み応えがある。

特に第2部第3章から第4章にかけての、SCOPE1-4に関する概要とポテンシャル把握は非常に理解しやすい。

第5章のガバナンス、リスク管理に関する解説は、再掲となるが、脱炭素をモチーフにした組織経営・コー
ポレートガバナンスのガイドラインとも読める。

第7章のサステナブルレポートは、今後の企業活動で必須となる非財務情報の開示について、実務の流れを
追うことのできる貴重なパートでもある。

欲を言えば、図表は横組みに統一してあれば、より読みやすい良書になったと思う。

－開催スケジュール－

日 程	開 催 場 所
2024年1月22日（月）	東京本社
2024年3月7日（木）	五反田事務所
2024年5月28日（火）	八重洲本社
2024年8月19日（月）	八重洲本社
2024年10月4日（金）	八重洲本社
2024年12月3日（火）	八重洲本社

※先進企業への視察ツアーを別途予定しております

－講座内容－

時間	講座	概要
11:00～ 12:00	船井総研による 脱炭素の動向と時流解説	今後脱炭素がどのように進んでいくのか、これからどのようなことが求められているのかを最新情報を基にわかりやすく解説いたします。
お昼休憩 ※昼食は船井総研にてご用意いたします		
13:00～ 14:00	脱炭素に関連する 特別ゲスト講座	省庁の方や脱炭素経営をすでに実現している中小製造業、大手製造メーカーのサステナブル推進室の方などから、脱炭素に関するご講演をいただきます。
14:20～ 15:00	脱炭素推進に つながるサプライヤー講座	すぐに実行できる脱炭素経営推進のための技術、ツール、ソフト、情報などを提供するサプライヤー様からお話いただきます。
15:20～ 16:10	会員様同士の 情報交換会	参加者同士で現状の課題や取り組みをオープンに情報交換いただきます。師と友づくりの発想で、モデル企業や一緒に取り組む同士と脱炭素経営のための情報交換をおこないます。
16:10～ 16:30	船井総研による 本日のまとめ	明日から実行すべきこと、経営において重要なことを本日のまとめとして、お伝えいたします。



上記の画像は弊社が運営している他の研究会の画像となります

－入会費用－

お試し参加の申込はこちら

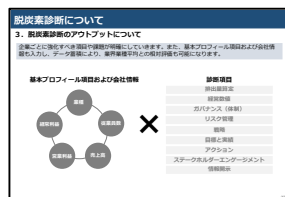
入会金 100,000円（税抜） 110,000円（税込）
 年会費 360,000円（税抜） 396,000円（税込）



※上記は1社1名あたりの会費 ※追加参加22,500円／人／回
 ※ご入会後1年経過以降に退会可能

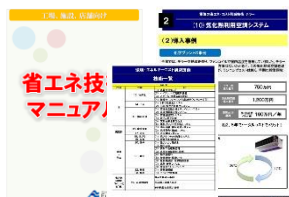
－入会特典－

脱炭素経営 診断の受講



脱炭素経営推進の
ための課題や実施すべき
事項が浮き彫りになる
脱炭素経営診断

省エネ技術 マニュアル進呈



全360Pにおよぶ
全国製造業の省エネ事例
をまとめた船井総研
独自のマニュアル

30分Zoom コンサル



月に1度、30分の
無料経営相談が可能です
※ご希望の方は
ご相談下さい

税理士 セレクション



ハイレベル税理士のご
紹介サービスです。
無料で専門コンサルへ
ご相談いただけます。
（オンライン60分）

社長online・ 社長ゼミの利用



NewsPicksとの
コラボメディアや
動画配信サービスが
利用可能

会員価格の 適用



船井総研主催の
セミナーが会員価格
で受講できる

組織SANBŌ （組織力診断） の受講



経営者と従業員の観点
で組織の現状を
見える化し業績アップ
を加速させる
「組織イノベーション」
の診断の受講

CASHFLOW SANBŌ （財務診断） の受講



組織の財務を強化する
（≒お金が貯まり続ける）
アクションプラン
を導き出す財務戦略
立案のための財務診断
受講

－お問い合わせ－

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



サステナブルなカンパニーをもっと。 株式会社船井総合研究所
 Funai Soken カーボンニュートラルユニット

E-mail green-x@funaisoken.co.jp

- 内容に関するお問い合わせ： 貴船 隆宣・釜谷 洋平・野宮 亜華沙
- 申込みに関するお問い合わせ： 事務局

株式会社船井総合研究所 エネルギー支援部は
持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。